

「松山市こども計画」策定に向けた ワークショップ 実施報告

若者

▼開催日 令和6年7月15日（月・祝）14：00～16：00

▼参加人数 20名

▼ファシリテーター 一般社団法人WONDER EDUCATION 越智 大貴 氏

▼プログラム

1. はじめに（少子化の現状と対策、ワークショップの趣旨など）

2. グループワーク

①自己紹介・アイスブレイク

「人生のプラス・マイナスだった出来事をそれぞれ付箋に書き出そう」

②課題をシェアし、見える化をしよう！

「出た課題の共通点を見つけ、グルーピングしてみよう」

③課題解決方法を考えよう！

「課題の要因を分析し、具体的な解決方法やアクションを考えよう」

人生のプラス・マイナスだった出来事をそれぞれ付箋に書き出そう

プラスの出来事

高校の部活で
人前で話す機会
が増えたこと

ボランティア活動
をして多くの人に
出会えたこと

全国大会に出場

海外に行き
色々な人と
交流ができたこと

第一志望の大学
に合格したこと

進学を機に実家
を離れたこと

家族・親せきの多
い環境で生まれ
育ったこと

東京で働いた
こと

インストラクター
との出会い

自分に合ったゼミ
を見つけて入れ
たこと

無事就職できた
こと

吹奏楽部に
入ったこと

サッカーを真剣に
取り組めたこと

大学で
チームをまとめる
力がついたこと

etc.

マイナスの出来事

人間関係が
うまくいかない

学生時代もっと
勉強すれば
よかった

人と直接関わる
時間が減ったこと

コロナの影響で
行事が無くなった
こと

テストの順位が悪
すぎて部活動を
辞めたこと

サークルに入らな
かったこと

転校したこと

学校での
いじめ問題

時間の使い方

etc.

出た課題の共通点を見つけ、グルーピングしてみよう

Aグループ

理想とのギャップ

- ・世代間の仕事に対する捉え方のギャップ
- ・時間の使い方

選択の幅

- ・世の中の仕事をほとんど知らない
- ・学生と社会人の交流の場が少ない

選択の自由度

- ・親の仕事を継がないといけない
- ・終身雇用の壊滅

仕事とプライベート

- ・休みが取りづらい環境がある
- ・子育てとの両立

Bグループ

学び直し

- ・情報過多で必要な情報に辿り着けない
- ・自由な時間がない
- ・お金がかかる

あったら良い教育

- ・やりたいことを見つける教育
- ・フィールドワーク
- ・お金に関する教育

学校での人間関係

- ・部活の上下関係
- ・学校内の階級

学校の制度

- ・選択肢が少ない(言語とか)
- ・出る杭は打たれる
- ・コロナで行事が無くなった

Cグループ

子育て

- ・教育費が高い
- ・送り迎え等、親の時間の捻出の難しさ
- ・地域でのサポート(見守り)の減少

結婚

- ・出会いの場が少ない
- ・結婚し、幸せな家庭が作れるか
- ・物価高、収入が少ない

介護

- ・地元で就職できなかったとき親の介護をどうするか
- ・介護士のなり手が少ない

お金

- ・年金が少ない
- ・社会の変化への見通しが不明確なこと
- ・物価高で思う生活ができるのか

Dグループ

SNS

- ・SNSへの依存
- ・匿名の悪用
- ・取り残されている人がいる

人間関係

- ・人間関係がうまくいかない
- ・学校でのいじめ問題
 - ・人と直接関わる時間が減った

学生時代

- ・地域で学生同士のつながりしか生まれない
 - ・ボランティア⇒人や社会に触れてつながる

広い世界

- ・留学先でいろんな国の友達ができた
- ・ヒッチハイクで様々な人の話を聞きながら旅できた

課題の要因を分析し、具体的な解決方法やアクションを考えよう

テーマ

【就職・キャリア】

課題

企業とのつながりや
異世代との接点が少ない

解決方法
アクション
市への提言など

- ・就職に向けた動き出しを早くする
- ・自営業、兼業、フリーランスなど、
いろいろな働き方を知る
- ・学生と企業をつなぎ役を設ける

Aグループ

テーマ

【教育・学び直し】

課題

社会で役立つ教育の実施

解決方法
アクション
市への提言など

- ・外部の特別講師や企業の方を招いた授業の実施

Bグループ

テーマ

【ライフデザイン(子育て)】

課題

人とのつながりの希薄化

解決方法
アクション
市への提言など

- ・大学生がこどもと高齢者の出会い
の場を企画
- ・大人と過ごすサマースクールの開催

Cグループ

テーマ

【社会とのつながり】

課題

SNSの危険性

解決方法
アクション
市への提言など

- ・対面コミュニケーションの場を増やす
- ・学校で教育する(自分たちで学び身近に
感じる)
- ・条例の制定(利用時間を制限、親が時間
を確認)
- ・危険性を広報

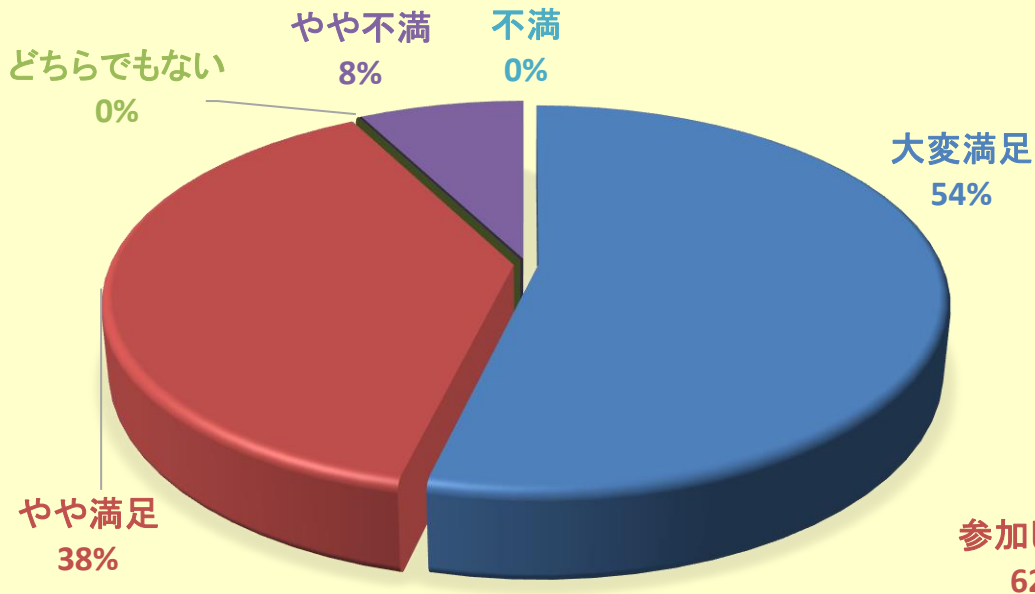
Dグループ

<グループワークのようす>

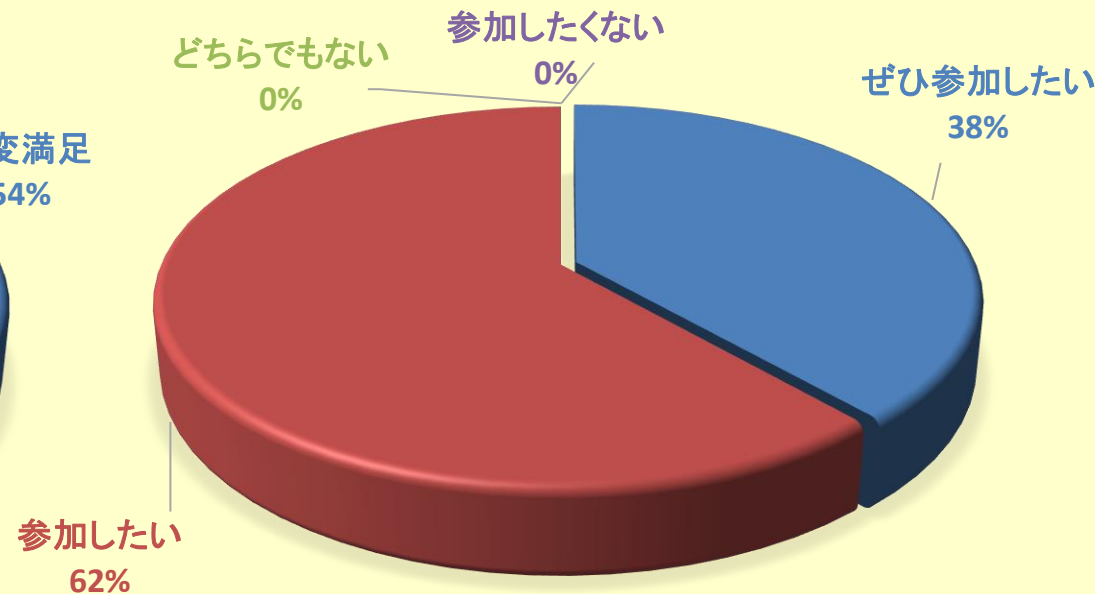


<参加後アンケート 集計結果>

Q. 本日のワークショップの満足度を教えてください。



Q. このようなワークショップにまた参加したいですか。



参加者の声(自由記述)

- 自分では思いつかないような意見がきけてすごく参考になった。とても有意義な時間になった。
- 「松山市こども計画」に関してのWSは、自分たちの暮らしに直結することを改めて実感し、こどもを持つ・持たないに関わらず重要視すべき観点だと感じました。一方で、より具体的に子ども計画について話し合える機会がほしく、WSの話題が広すぎて会話に難しいと感じました。
- テーマ分けの時に、話したいテーマにそれぞれの参加者が集まる形式でもよかったかなと思った。あまり実感のないまま話している子もいたので、当事者意識の強い意見を出すなら、関心のあるテーマについて話せるようにグループ移動できても良いのかなと
- 今回社会人で参加させていただきました。大学生のみなさんとお話できる良い機会でもあり、松山市の取り組みも知れてとても良かったです。今後どのような取り組みをしているか等、色々調べてみたいと思いました。
- 異世代交流の場をつくって欲しいなあ～
- テーマは自分で選びたかった
- もう少し時間がほしかった。2時間半くらいでもよかった。